

速報

第69回中部日本高等学校演劇大会

12月23日(金)

～ 進め舞台の冒険者たちよ～


1校目

三重県総合文化センター・中ホール

上演作品名 アシカの笑顔
 作者名 谷津田

上演校 四日市農芸高等学校

感想ボードより




・皆さんの熱意のこもった舞台に感動しました。改めて「笑顔」の大切さを感じました。


・みるたびによくなってまわね...!

・セットがすごくて引き込まれました...。アシカさんの笑顔、ステキでした。

・生物と関わるに当たって生死どちらにもでくわす人ですよね... 嬉しいことは「かりいせん」あたりがリアルでした!!




速報係から



・キャラのそれぞれの特徴や仕事から、苦しんでいても前を向かせる力は「大人の強さ」というものが伝わってきた。自分がどなただけ苦しい、つらい思いをしていても、高校生、次の世代を任せます。


「大人達、姿勢はともたたくましく、仕事をしている人を近くで見ることが表現できるものな」と感じました。



幕間研究

「上演を終えて」
 全員が県大会と比べると緊張感を持って、ベストをつくすことが出来た。

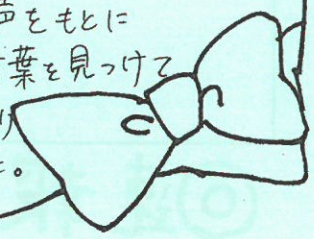
「伝えたいこと」
 ・大人とのかけがえの無いからこそ伝えたい「四日市農芸」らしさ。
 ・高校生が社会の現実と向き合い、ふみだせる一歩がある。



楽屋インタビュー

Q. 脚本を作り上げる過程で行ったことは何ですか?

A. 生徒の生の声をもとに伝わりにくい言葉を見つけて観客にも分かりやすいようにした。

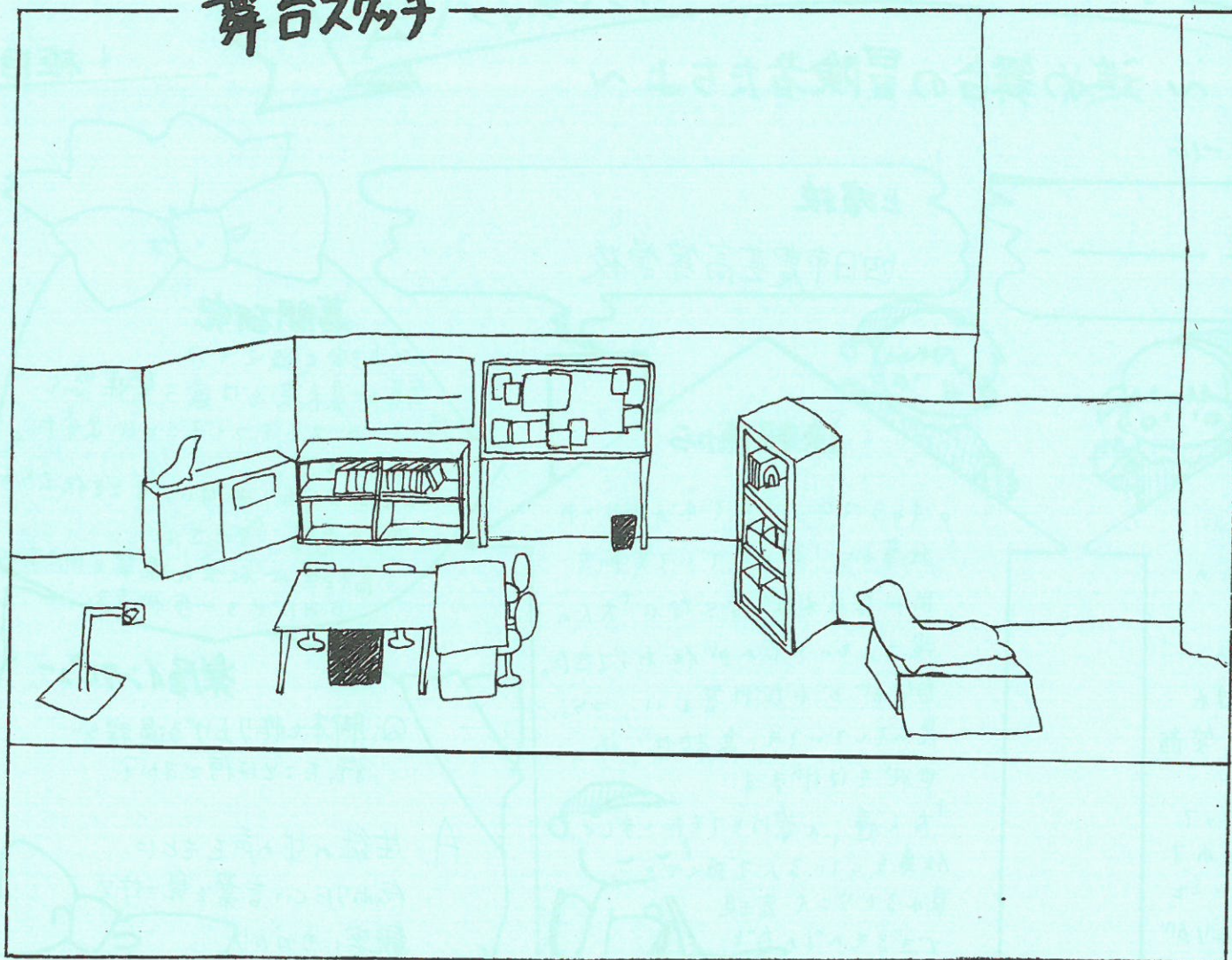


担当者: 布田愛理, 大野史夏, 山崎万奈美

【四日市農芸

】高等学校【三重】県

舞台クチ



ココを
シキわった!!

主人公の高校生が
変化していく過程。



ココが
シキわった!!

効果的な照明や
音響を探ること。



ココが
速報係の印刷機!!

泣き崩れるシーン。

生命の重さを
強く感じられました。



◎速報担当 ⇨ 布田愛理, 大野史夏, 山崎万奈美